

第18号

編集・発行

龍谷寺

日進桜楓霊苑案内所
株式会社 大興企画

〒470-0102

日進市藤島町寺下甲29

☎0561-72-5454

桜楓たより

夏を迎えて



稲穂も夏の日差しを浴びて、青々とたくましく育っています。

日進桜楓霊苑の皆様におかれましては、ご

健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

早いもので、日進桜楓霊苑は、開苑以来16

年が経ちました。以前、同霊苑のあった場所は段々畑で、とても景色が良く、その周辺には柿や栗の木が植わっていました。

龍谷寺三十六世得道芳髄大和尚は、この場所を墓地に造成することに決め、日々、段々畑を歩き、ブルドーザーに指示しながら、現在の日進桜楓霊苑の基礎を造りました。

平成6年、日進に市制が敷かれ、人口の増加が加速したころです。

得道芳髄大和尚は当時、大本山總持寺副貫首、岩手県水沢市の正法寺、埼玉県大宮市の東光寺の住職をしており、多忙を極めていました。

愛知県や地域の方との折衝や墓地申請の手続きが遅れ、しかも工事はなかなかはかどらなかつたため、「龍谷寺にお金を貸してあげるから、早く墓地を整備してください」と申し出る方もいるほどでした。

平成8年7月1日、ようやく開苑にこぎ着けました。第1、第2、第5ブロックも皆様にご利用いただき、その後平成15年に第4ブロック、平成23年に第3ブロックを整備しました。

朝夕とお墓参りに来られる方も増え、春彼岸、お盆、秋彼岸には沢山の方々で大変賑わっています。

得道芳髄大和尚は平成10年1月22日、曹洞宗管長となった日、遷化いたしました。現在の日進桜楓霊苑のにぎわう様子を見たら、きっと眼をうるませて「よかったな!」と言うことでしょう。

お盆がやってきます。それぞれのご家庭で先祖を敬う大切な日本ならではの行事です。みなさまの現在があるのは、ご自分の力だけではなく、先祖があり、今のご自分があるのです。

曹洞宗では、脚下昭顧（きゃっかしょうこ・足元を見よ）と言います。お盆の行事を家族で行うことで、ご先祖様に感謝の気持ちを届けたいものです。



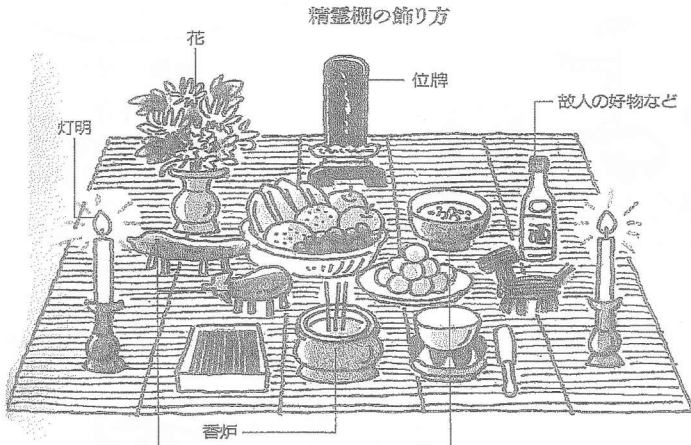
お盆のお話

釈迦や昔の高僧、先祖を祀る
ために行う年中行事

「お盆」は、さまざまな仏教の年中行事のなかでも、最も広く親しまれ、日本人の生活に根づいている行事の一つです。正式には孟蘭盆会（うらぼんえ）といいます。

「孟蘭盆」とは、インドの古い言葉であるサンスクリット語（梵語）で、逆さ吊りの苦悩を意味する *ulambana* に漢字を当てたもので、もともと「孟蘭盆経」というお経に出てくる仏説に由来するものだといわれます。

釈迦の高僧の1人である目連は、地獄の餓鬼道に堕ちて飢えと渴



キュウリの馬、ナスの牛
キュウリとナスに字を刻み、洗った馬と牛をつくる。先祖の霊が馬に乗って早く帰ってきて、牛に乗ってゆっくりあの世に戻っていくようにとの願いを込めたもの。

水の子
ナスをさいの目に刻み、洗い米を混ぜて、清水を満たした器に入れて供える。祀る人のない無縁仏や餓鬼への供え物と考えられている。

龍谷寺の植物

半夏生（はんげっしょう）

ドクダミ科の多年草。夏至から数えて11日を暦で「半夏生」といい、このころに花を付けるため、この名前がついた植物。花に近い葉が白くなり、花よりも目立ち、化粧したようにみえるので、「半化粧」とも呼ばれます。龍谷寺新客殿の庭に自生しています。7月11日、「半夏生」の日に一輪、活けてみました。



紫陽花（あじさい）

日進市の花でもある「紫陽花」は、毎年龍谷寺の西側参道に美しい花を咲かせます。ピンク、青、白とさまざまな色で梅雨の季節に彩りを添えてくれます。

龍谷寺

盆施餓鬼供養のご案内

今年も次のように「龍谷寺盆施餓鬼供養」をいたします。皆様のご来寺をお待ちしています。

■日時 平成24年8月15日（水）

午前8時30分 受付開始

9時 新盆施餓鬼供養

10時30分 盆施餓鬼法要

法要終了後、龍谷寺十穀ご飯を先着300名様に振舞います。

今年も猛暑が予想されますので、お参りの方が少しでも心地よくお参りをいただけるよう、例年通り、おいしいかき氷の振る舞います。そらってお出かけください。

龍谷寺檀家の方には、お盆のリーフレットを送ります。

龍谷寺永代供養墓

「縁」のご案内

このほど日進桜楓霊苑第3ブロック内の龍谷寺永代供養墓「縁」を建立します。

龍谷寺永代供養墓「縁」は、継承者がいない方でも安心して納骨いただけます。龍谷寺では、三十三回忌まで責任を持って供養いたします。

春、秋、お盆などの法要には、自由に参加することができます。生前のお申し込みもお受けいたします。納骨は30万円から相談に応じます。

永代供養料のみで、永代使用料、管理料は不要です。

詳しいことは、9月中旬からお知らせいたします。



名古屋市中東区、日進市の中心に「日進桜楓（おうふう）霊苑」があります。小高い緑の丘陵に建つ霊苑は、春は桜、秋には楓が舞うところから「日進桜楓霊苑」と名づけられました。

主・渡辺守綱の助力を得て、伽藍を整備し、当代の住職、成田隆真で38世となります。

当寺の36世は、曹洞宗管長と横浜市鶴見にある曹洞宗大本山総持寺の貫主を務めました。

すでに約800基のお墓が建立され、南面一列タイプの新区画「第3ブロック」が昨年2月より好評発売中です。ぜひ一度、お出かけください。

日進桜楓霊苑



墓石クリーニンング します

墓石の水垢汚れや文字のペイントの剥がれ、ステンレス部材など気になる方は、現地案内所にご相談ください。水垢取り、ペイントの塗り替え等、お見積もりいたします。

お花の予約販売 いたします

期間 8月11日～15日
金額 2,000円(税込み)
※線香、ローソク、マッチはご用意下さい。

お参り前日の午前中までにご予約ください。



■霊苑ご利用者への お願い

住所の変更・名義人の変更などがあった場合、届出書が必要になります。

また、納骨時にも届出書が必要です。詳しくは現地案内所までお問い合わせ下さい。

洋風タイプのお墓



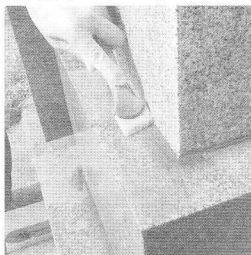
価格はデザインや墓石の色で異なります。

— お墓洗いセットを販売 —

日進桜楓霊苑では、「お墓洗いセット」を販売します。このセットは、パークロス、花筒洗い用バー、強力水アカ取りの3点。

お墓の花筒、花立てのヌメリには、花筒洗い用バー（発砲スチロール製）の先にパークロスを巻きつけ、輪ゴムで止め、洗ってください。水鉢の汚れは、パークロス、強力水アカ取りで、水垢は強力水アカ取りで落とします。

環境を汚さず、石を傷つけず、水だけでOK。簡単、便利なセットです。1,000円（税込み）。現地販売所で販売。



1,210,000円



2,190,000円



日進桜楓霊苑

現地案内所
フリーダイヤル



0120-5454-31

☎ 0561-72-5454

〒470-0102 日進市藤島町寺下甲29番地
(受付時間: 午前10:00～午後4:00 / 定休日: 毎週水・木曜日)

龍谷寺年間予定

〔平成24年〕

8月15日(水) 盆大施餓鬼会 10時

初盆供養 9時集合

9月22日(土・祝) 秋分の日

秋の彼岸施餓鬼会

11月23日(金) 水子供養会 13時受付開始

13時30分供養会開始

12月31日(月) 除夜の鐘打鐘 23時30分から受付。甘酒

振る舞い有り。

打鐘の方には幸福たるま進呈。お守り・

絵馬もあります。

〔平成25年〕

1月1日(火・祝) 元旦祈禱

1月1日・2日・3日 年始挨拶 法事申し込み受付

1月14日(月・祝) 成人の日

大般若祈禱 10時 国家安寧とすべての

人々の幸せを祈る大法要です。龍谷寺大般若

若経600巻を転読します。龍谷七福神参

り。寺では大根と結び昆布を炊き、皆様に振

る舞います。そして、琴の演奏もあります。

2月15日(金) 涅槃会

お釈迦様がお亡くなりになった日。2月

の初めから龍谷寺寺宝「涅槃図」(江戸時代

應信作)を龍谷寺本堂にかけます。どうぞ

お参りください。

4月13日(土) 第15回芳桜茶会

今回で15回目を向かえる芳桜茶会。一服

のお茶をお楽しみください。2月ごろより

お茶券を準備します。

水子供養会のご案内



龍谷寺の水子観音様は境内南側の道路に面したところにお祀りしてあり、いつでもご自由に参拝することができます。今回、年に1度の水子様の供養を行います。

心の中に薄縁の水子様の事が気になっている方、色々な事情で供養できずにいる方には、ぜひ供養することをお勧めします。

日時 11月23日(金・祝) 午後1時受付開始、午後1時30分供養

開始

志納料 5000円 1回向証(供物をお渡しします)

宗旨、宗派に関係なくご供養をいたします。

そのほか、個人でご供養を希望される方は龍谷寺へ直接ご連絡ください。☎0561(72)0012

写経のすめ

写経とは、また印刷技術がなかった時代に、僧侶たちが教えを学ぶために経典を自分で書き写すことから始まったものです。そして写経は熱心な信仰心を具体的な形にすることもありました。

現在では、一般の人々が心のよりどころとして、または願いや誓いを込めて写経を行うようになりしました。

写経をすることは、めまぐるしい日常の生活のなかで姿勢をただし、雑念を取り去り、自分を見つめなおす良い機会となり、心が穏やかに静まります。また知恵やアイデアもわいてきます。現代人にとって最も必要なのは、何もかも忘れて没頭し、静かな時間を作

梅花流詠歌教場

曹洞宗梅花流詠歌を龍谷寺本堂新客殿にて稽古をしています。詠歌の言葉1つひとつが心に染み入り、梅花流詠歌ならではの感動があります。

日時 毎月1回午後1時

講師 梅花師範 富尾知恵尼

芳桜会書道教室

楷書、行書、かななど幅広く指導いただけます。

毎月書泉にて級段を受けることができます。

日時 毎週土曜日(10時～12時、14時～17時)

場所 龍谷寺本堂下新客殿

講師 安藤霜秋先生

月謝 3千円

芳桜会茶道教室

毎週土曜日(13時～17時)、龍谷寺茶室「心月庵」にて表千家の茶道を学んでいます。講師は、恒川宗裕先生で楽しく教えていただいています。

1回 2千円

※各教室とも詳しくは、龍谷寺☎0561(72)0012にお問い合わせください。

ることではないでしょうか。

写経は誰にでもすぐ取り組めます。宗派や宗旨にこだわらず、一文字、一文字をていねいに書き写すことから始めてみましょう。

龍谷寺では、毎月第3金曜日1時から龍谷寺本堂下客殿で写経会を行っています。

どなたでも、いつからでも参加できます。皆様の参加をお待ちしています。

持ち物 硯、筆、毛筆を書く時の下敷き、文鎮、写経用紙。お手本はお寺にあります。

今年開催は次の通りです。

●9月21日・10月19日・11月16日・12月21日

●平成25年1月18日・2月15日・3月15日